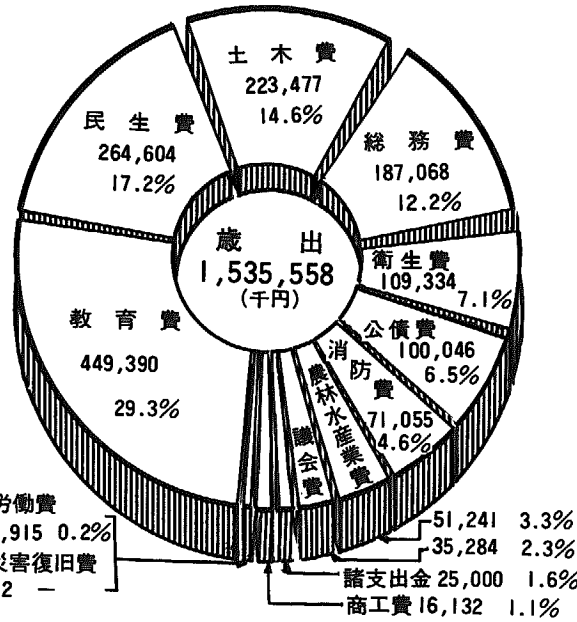


国民健康保険特別会計は、歳入三億四千三百九十九万二千円、歳出三億一千四百七十九万二千円、差引、二千九二〇万円の繰越しとなっております。

この主な要因は、歳入では保険税の伸びと国庫補助金の増額、歳出では療養給付費が予定額を下回ったことです。

今後は、医療費の引き上げ、高額医療費、老人医療費が年々増大していることから、国民健康保険事業の財政状況は年ごとひつ

### 国保特別会計も黒字



迫していくものと予測されるため住民自らの健康管理が医療費削減に反映し、健全な財政運営が図られるものと考えられます。

一般会計においても表むきは黒字財政ではありますが、グラフに示したとおり公債費(借財)の返済が決算額の六・五%一億余円を占め、また、歳入においても町債(借財)が一・四%、二億六千万円にも達していることから、決して楽な「家計」とはいえないところではあります。

### 昭和50年度一般会計 おもな事業

事業名	金額 (千円)
庁用車購入費	1,800
交通安全対策事業費	3,100
国有地払い下げ(黒崎高校)	1,790
河川敷公園整地工事費	3,500
木場保育所用地取得及整地費	16,973
家庭下水道改善整備補助金	500
失業対策事業費	2,865
種子近代化団地設置事業補助金	4,800
経営改善対策事業補助金	1,381
地盤沈下対策事業負担金	3,854
板井西部地区農道事業分担金	1,856
町道整備事業費	149,433
グレーダー購入費	8,590
県道路橋梁費負担金	1,672
都市下水道事業費	22,827
消防自動車購入費	4,450
木場小学校改築事業費	75,831
マイクロバス購入費	2,800
善久公民館建設事業費	15,810
屋外体育館施設用地取得事業費	161,636
その他	11,025
合計	496,493

### 商工会より

商工会では商工業者のために、決算、確定申告の相談を無料で行います。

1. 期日 2月24日(木)25日(金)  
3月3日(木)4日(金)10日(木)

1. 会場 商工会  
1. 時間 午前9時30分～午後4時30分

### 乱用ぎみの救急車

#### 軽傷・軽病は自家用車などで

最近、救急車がむやみに使用され、肝心の救急業務の用をなして、いらい傾向が見受けられます。

本来、救急車は、交通事故による負傷者、急病人等をより早く医師のもとへ搬送する車です。ところが最近、急病患者の中で、軽病者が多く、自家用車やタクシーで充分間に合うケースが多くなっています。この間に重傷、重体の患者から要請があってもそれに応えることが出来ず、「一命」をおとしかねることも考えられます。今後は傷病人の容態をあわてずによく確認し、軽微であったならば、自家用車

### 善意に感謝

- ◎交通事故者の医療保護に 興野二区 吉田政作さん 一万七千八百円
- ◎西山田電車踏切り警報遮断機設置の一助に スーパー堀川(株) 本間商事(株) 三十万円
- ◎思まれない人達に慰問金品 新潟大野ライオンズクラブ 二万五千円
- ホーイスカウト西蒲原第一団 三万八千八百円
- 木場 渡辺電機店 電気洗濯機一台

## （私の政治姿勢） 対話と融和の精神を 浅妻茂一郎

このたびの町長選には皆様方の町政に対する関心のたかまりとご理解の深さから感謝いたします。特に財政のことなど、地方自治の根幹にふれる問題も提起される熱心さは、「選挙とは政治教育の場である」、の言葉通り全町民が黒崎町の将来を真剣に考える大切な機会でもありました。

黒崎新海に隣接した地域だけに将来は発展し、変化するだろうと町民のだれもが考えています。それが、それだけに政治の課題も責務は、いっそう重大であると思えます。

それに取り組み私の政治姿勢は、繰返し申上げました如く、まず、一、公平無私、政治は最高の道徳であらねばなりません。私は清潔で、不偏不党、開かれた町政をつくりたい。

二、対話の町政、町政の主人は住民であります。私は議会が代表する住民の意志を尊重し、「いつでも、どこでも、誰とでも話し合う」ことを基本に、町政をすすめます。

三、明るい将来への確信、私は行政経験を生かし、不可能を可能にする気概と誇りをもって、健康で、文化的な、活力のある、町づくりを行います。以上三つの他に、重点施策としては、

一、生活環境の整備と充実  
(1)効率的な土地利用対策  
(2)道路網の改良整備  
(3)都市下水事業の推進  
(4)公害防止と防災対策

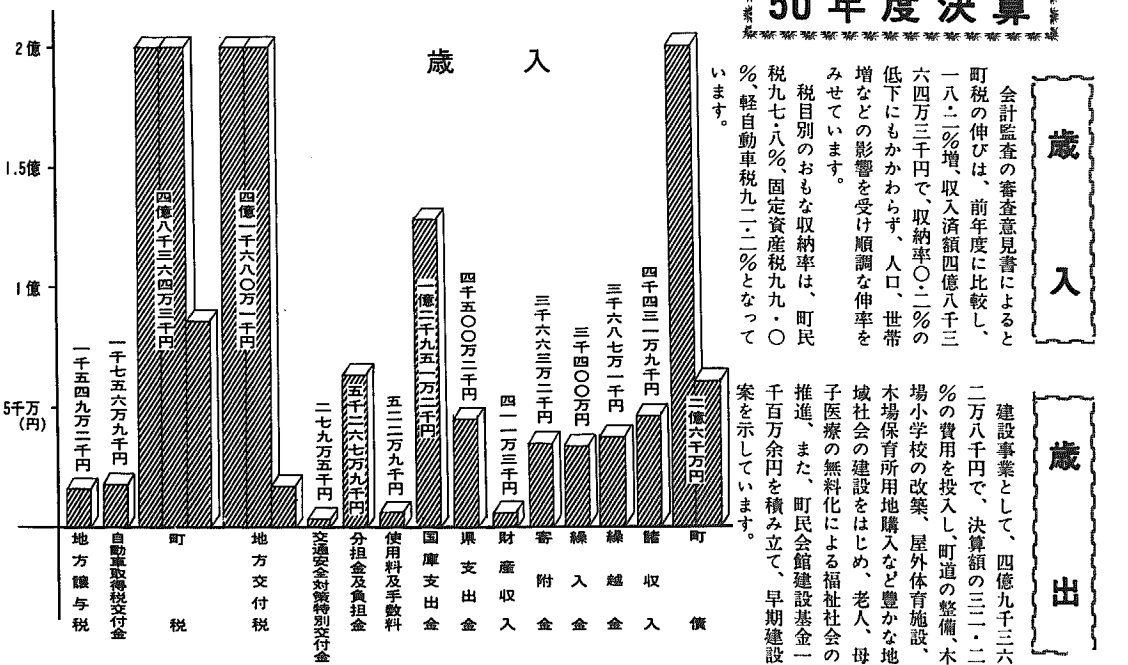
二、農、商、工の調和のとれた産業基盤を育成、整備する。

三、教育、スポーツの振興、青少年の健全育成、文化施設の充実。

四、住民福祉の増進、恵まれた人に光のあたる政治の実行。以上の如くであります。私は、前町長の路線を踏襲し健全な町政を堅持しながら、候補の主張とそれぞれの支持者の意向を尊重し、対話と融和の精神を大切にしながら、秩序ある町、均衡のとれた町づくりを進めるとを念願としており、また、今後とも町勢発展のため、皆さん方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 苦しい台所ながさ 4,900万円繰越す

昭和50年度の一般会計決算は歳入総額15億8465万7千円、歳出総額15億3555万8千円で、苦しい財政ながら、4909万9千円を繰り越し、過日の定例議会で、可決承認されました。



### 50年度決算

会計監査の審査意見書によると町税の伸びは、前年度に比較し、一八・二%増、収入総額四億八千三百六十四万三千円、取納率〇・二%の低下にもかかわらず、人口、世帯増などの影響を受け順調な伸率をみせています。

税目別のおもな取納率は、町民税九七・八%、固定資産税九・〇%、軽自動車税九・二%となっております。

建設事業として、四億九千三百二十八万八千円で、決算額の三二・二%の費用を投入し、町道の整備、木場小学校の改築、屋外体育施設、木場保育所用地購入など豊かな地域社会の建設をはじめ、老人、母子医療の無料化による福祉社会の推進、また、町民会館建設基金一千九百九十九万五千円を積み立て、早期建設案を示しています。